

※第4次計画のポイント『デジタル技術を活用した取組』  
 に、関連するものに「○」

## 酒田市小学校長会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・「食育の日」に、昼の放送を活用して、児童会委員会が献立内容について発表したり、栄養教諭が食育の意義について話をしたりしている。			
	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・児童による昼の放送で食事のあいさつを含めた、マナーや調理員さんへの感謝の気持ちをよびかけている。 ・ランチルームを活用した給食や隣接する学年と一緒に給食では、異学年の友達とマナーを守り、楽しい交流の場になっている。			
	家庭	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	7	食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさまでした)を大切にする	・給食時に、どの学級も、いただきます、ごちそうさまのあいさつをしっかりと行うようにしている。 ・給食当番が配膳室の前で「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶をし、食材と調理してくれた人に感謝の意を表している。			
	家庭	乳幼児期 小学生	8	早寝・早起き・朝ごはんを推進するとともに、歯磨きを習慣づけ、子どもの頃から望ましい生活習慣を身につけさせる	・学校とPTAが連携して「生活リズム強調期間」を設定して、「学校保健委員会」で取り上げ、保健だより等で伝えている。 ・学区全体で、年3回「自分で健康な体づくりわしよう」の取組みを実施している。			
	家庭	乳幼児期 小学生	10	食事の盛り付け、運ぶ、食器を洗うなど、子どもに手伝わせ、小さな頃からできるようにする	・給食当番活動を通して、盛り付けや配膳を全学年が行っている。準備から食事、後片付けまで、担任が児童と共に行うことで、1年生のうちから当たり前習慣づけられている。 ・夏休みの宿題の一環として「お手伝い」を取り上げ、その中で食事の準備等に取り組んでいる児童も見られた。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・学校とPTAが連携して「生活リズム強調期間」を設定したり、各学期始めと終わりに「いきいきカード(生活リズム調べ)」を活用したりして、バランスのよい朝食を摂るよう意識づけしている。			
	家庭	乳幼児期 小学生 若年期 子育て期	13	子どもだけでなく、親も一緒にテーブルマナーや箸の持ち方、主食・主菜・副菜のバランスの良い食べ方などを学ぶ	・新入学児童保護者説明会の資料に入れ、箸の持ち方や食事のマナーなど、啓発を行っている。		・親子試食会を計画していく。	
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	17	地域と教育機関の連携を深め、農業者や高齢者から稲作や野菜作りを学ぶ	・地域の方やJAの方から教えてもらいながら田植え体験や野菜(ミニトマト、ジャガイモ、サツマイモ、大根、赤ネギ)、花の栽培などを通して、食への関心を高めている。 ・収穫や感謝の会を通して心の交流を図っている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	18	食事の適切な量を選択し、食べ物を粗末にしない	・食べられる量を調整し、盛り付けられたものは残さず食べるように給食指導を行っている。調理員とも相談しながら進めている。 ・給食委員会で食品ロスをなくそう週間を食育月間中に実施した。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	19	子どもに栽培活動を通じて、世話の大変さや育ちの驚き、収穫の喜びを体験させ、食べ物への関心を持たせる	・各学年の畑やプランターで、野菜等を育て、収穫まで体験できるように「食物」に対する感謝の心を育てる機会としている。 ・米づくり体験で、籾蒔き見学、発芽見学、田植え、防除作業見学、稲刈り、脱穀作業、米の販売、俵編み、土俵だわらづくりと、一連の体験活動の中で、イネの成長を実感し、イネ文化のすばらしさを実感する体験活動を教育課程に組んでいる。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	20	収穫だけの農業体験ではなく、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、食を生産することの大変さや、食の大切さを伝える	・地域の方から教えてもらいながら野菜の栽培を一緒に行うことなどを通して、食への関心を高めている。 ・生活科、総合的な学習の時間に育てた野菜を調理し、味わう体験活動を実施している。(販売や試食、収穫感謝祭も行った。)			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりを通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・心を育む学校給食週間に、調理員さんへの感謝の手紙を書いたり、感謝の気持ちをこめて、ていねいな後片付けに全校で取り組んでいる。 ・各学級に給食だよりを掲示し、食への関心を持たせている。 ・給食の時間に食事のマナーや正しいはしを持ち方について、児童会の委員会活動として、上学年の児童が下学年の児童に教える機会を設けている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	24	生活リズムへの取組みや調査、栄養指導を行う	・学校とPTAが連携して「生活リズム強調期間」を設定して取り組んでいる。 ・年間数回の「生活リズム調べ」や食育に関する活動を栄養指導や委員会活動等で、栄養バランス等を含めて、意識付けを図っている。			

## 酒田市小学校長会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	25	食環境の整備と食事時間の確保を行う	・身支度、手洗いなどの給食準備の指導を全学級共通して行っている。			
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・家庭科で行った調理実習の内容を、家庭でも実践する機会をつくっている。 ・学校で育て収穫した野菜を持ち帰り、家庭で調理する課題を出し、ICT機器を活用してまとめた。			
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生	27	給食を通じて、発達段階に応じた食べる力を育む	・いただきますの前に自分で食べきれぬ量を調整し、自分で決めた量を残さず食べきるよう指導している。			
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生、中学生	29	文化祭や収穫祭等で、食品に関する展示や体験コーナーを設置する	・栽培した米を地域の文化祭で販売する	○		
	保育所教育機関	小学生	31	企業やプロスポーツ組織などと連携し、学校において食育授業や交流給食などを行う	・アランマーレとの食に関する学習により、体づくりにつながる食育を強く意識させることができた。 ・山形ワイヴァンズの出張授業でプロスポーツ選手と食について学んだ。 ・カルピースナックススクールでおやつとの付き合い方について学んだ。	○		
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・学校の食育戦隊計画を作成し、それに基づいて食育を進めている。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・栄養士さんから、学年に応じた食育指導を全学年で実施している。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・「心を育む学校給食週間」を設定し、栄養教諭より、給食、食文化、食べ方、マナー等の指導の機会を設定している。			
	行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・「食育全体計画」を毎年度見直ししながら推進している。			
行政	全体	54	家庭、教育機関、PTA、地域等が連携し、一緒になって食育についての機運を高め、活動していく	・学校保健委員会で話題にし、保健だよりで取組みを紹介し、各学年で工夫しながら取り組んでもらっている。 ・学期に1回(年3回)生活リズムづくりの強調週間を設けている。				
地域	全体	63	地域の人々との共食の機会を設け、食事の楽しさを感じてもらうとともに、栄養バランスなど健康に配慮した食事を意識づける				・地域の方々との給食試食会を可能な範囲で実施したい。	
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・郷土料理や地域の伝統行事の献立時には、職員作「納豆汁の歌」など児童に興味を持たせる方法で解説や紹介を行っている。 ・地域の伝統食である「笹巻き」を、地域の女性会の方々から教えていただき作った。 ・地域高齢者へ社会福祉協議会が定期的に配色弁当を実施する際小学生が手紙を添えた。			
(3) 食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・給食委員会が主体となって、残食を0にできるような取り組みを計画している。(給食をたくさん食べる人へのインタビューや残食調査など)			
	保育所・教育機関	乳幼児期 小学生	83	収穫だけの農業体験ではなく、実際に土に触れ、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、命を大切にすることや食に対する感謝の気持ちを育み、調理の技術を身につけさせるとともにそれらの活動を通して生産者との交流を深める	・伝統的に「鮭の学習」を行っていて、日向川鮭漁業生産組合、西荒瀬地区食生活改善協議会の協力のもと、日向川に戻ってきた鮭を料理し、いただく「鮭料理教室」を行っている。 ・伝統野菜「赤ねぎ栽培」を地域の方に指導を受けながら取り組んでいる。食するところまで一貫した取り組みを行っている。 ・2年生が育てたさつまいもを一部、給食として提供した。			

## 酒田市中学校長会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・食育だよりの配布とともに、給食委員会の毎日の献立放送に加えて紹介している。 ・食育の日献立のおたより等をgoogle crassroomにアップし、電子データで生徒に提供している。	○		
	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・コロナは5類になったものの、グループ体系での会食には至っていない。大声にならないような会話の中で食事を楽しんでいる。			
	家庭	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	7	食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさまでした)を大切にする	・食育の心づくり、行いづくりの観点から、命をいただくありがたさを感じさせるよう留意しながら食事のあいさつを行わせている。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・全国学調や保健委員会のアンケート等で調査を行いながら、朝食の大切さの指導を行っている。また、小中一貫教育養護教諭部会の生活リズムづくりの中でも取り上げている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりに通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・自校給食の学校については、給食の調理員さんへ感謝のメッセージを書いた入り、発表したりしている。 ・東部中学区で、小中一貫教育推進会議が共催して保護者・地域の皆さんと一緒に「弁当の日」という映画の上映会を行った。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・養護教諭部会、生徒委員会、PTA等の各機関で生活リズム等の調査、実践、指導等を行っている。 ・肥満傾向の生徒には、養護教諭が中心となり間食の指導等も行っている。 ・家庭科や保健体育の授業で食の栄養等についての学習機会がある。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	25	食環境の整備と食事時間の確保を行う	・給食委員会で、給食準備の点検、残菜の点検、配膳台の清掃等の活動を行っている。また、SDGsとからめて、食の安全、残菜等について考える機会を設けている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・家庭科の授業でバランスのよい食事を学び、家庭で実践する取り組みがある。また、自校給食の学校において、実際に家庭で調理したものを家族に食べてもらいコメントをもらう取り組みをしている。その一連の状況をレポートにして、校内のコンクールに出品し、優秀作品は実際に給食として提供する取り組みもある。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	34	自分の所属団体にとらわれずに、各地域に運動を広げ、自分の学んだことを各地域に還していく	・小中一貫教育の中で、保護者や地域住民と一緒に食について考える機会を制定している学区もある。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・家庭科の授業の中で、家族について考えたり、食について考える機会がある。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・旬や地産の食材を使用した献立やおたよりによる啓発等が行われている。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・市教育委員会による食育だよりの、生徒給食委員会による給食だよりの活用した広報が行われている。			
(3) 食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・SDGsの取り組みの中で、食品ロスについて考えさせたり、生徒会が中心となりフードドライブに取り組む学校もある。			

## 飽海地区高等学校長会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・テーブルマナー講習会の開催(日本料理、中国料理、西洋料理)。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・中学生対象料理教室(年4回)。			
(3) 食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・食品ロスについての講習会を実施。 ・東北公益文科大学ボランティア団体Ligaと酒田南高校食育調理コースと協同でサルベージクッキング実施。			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	105	高校生のアイデアを活かした商品開発や情報発信を促進する	・生協と酒田南高校食育調理コースコラボ弁当開発販売(2019.12~)。 ・(株)良品計画と酒田南高校食育調理コース、地元ラーメン店との協同で塩ラーメン開発・販売(2023.5/2023.7)。			

## 酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・家族揃っての食事を推奨している。 ・家族団らんの日として毎月の予定表で告知している。			
	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・絵本や活動を通して子ども達へ知らせている。また、給食の中で知らせたり、家庭へおたより用を通して知らせたりしている。 ・給食の後の片付け時には、子ども達が担任と一緒に調理士さんの元へ行き、メニューの感想や調理してもらった感謝の気持ちを伝えている。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	7	食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさまでした)を大切にす	・給食やおやつ時間の中で知らせたり、家庭へおたより用を通して知らせたりしている。			
	家庭	乳幼児期 小学生	8	早寝・早起き・朝ごはんを推進するとともに、歯磨きを習慣づけ、子どもの頃から望ましい生活習慣を身につけさせる	・家庭への働きかけを年度初めに実施。 ・早寝・早起きは園長とのお約束で定期的に園児に働きかけている。 ・歯科医からの指導をもとに歯磨きの大切さを知らせている。年少から年長児は昼食後の歯磨きを毎日、実施している。 ・保健だより、クラスだより等で早寝早起き、朝食の大切さを伝えている。			
	家庭	乳幼児期	9	幼児期から栽培や調理に関わらせるなど、食に関する学習や体験の機会を増やす	・園庭の菜園で野菜を育てて、給食の副菜として食している。 ・地域の農家の協力を得て、植ええから収穫を行っている。 ・魚の放流事業に参加している。			
	家庭	乳幼児期 小学生	10	食事の盛り付け、運ぶ、食器を洗うなど、子どもに手伝わせ、小さな頃からできるようにする	・昼食やおやつの際、配膳、運ぶ、片付ける等を行っている(年長児は盛り付けもやっている)。家庭にも家族の一員としてできることに取り組ませてほしいと働き掛けている。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・家庭におたより等を通して知らせている。 ・子ども達にも絵本等を通して大切さを知らせている。			
	家庭	乳幼児期 小学生 若年期 子育て期	13	子どもだけでなく、親も一緒にテーブルマナーや箸の持ち方、主食・主菜・副菜のバランスの良い食べ方などを学ぶ	・家庭にできることに取り組ませてほしいと働き掛けている。 ・園での給食の際、和洋での箸・フォークの使い分けや食器の位置を指導している。年齢等、子どもの様子に応じて持ち方を保護者に知らせている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期	16	保育所や認定こども園で菜園や実のなる木など、食べ物が身近にある環境づくりをする	・プランターや畑、園庭等で育てている。 ・梅、ジュンベリー、ブラックベリーの実を収穫し、ジャムづくりを行った。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	17	地域と教育機関の連携を深め、農業者や高齢者から稲作や野菜作りを学ぶ	・地域の農家の協力を得て、畑での植ええ、収穫体験を実施。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	18	食事の適切な量を選択し、食べ物を粗末にしない	・自分が食べられる量を自分で決めたり、選んだりできるように配膳している。苦手なものも自分で量を定めることで食べる意欲につながっている。 ・苦手な食材の配膳を工夫(少しだけでも食べてみる)している。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	19	子どもに栽培活動を通じて、世話の大変さや育ちの驚き、収穫の喜びを体験させ、食べ物への関心を持たせる	・さつまいもほりに向けて農家から苗の植え方や育て方を聞き、苗植え体験や収穫体験をしている。収穫したものを持ち帰り、自宅でも料理できるようにしている。 ・園の畑で野菜を育て、水やりや草取りなどを子ども達がやっている。収穫したものは給食メニューに取り入れてもらったり、簡単なクッキング体験をして興味を深めている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	20	収穫だけの農業体験ではなく、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、食を生産することの大変さや、食の大切さを伝える	・さつまいもほりに向けて農家から苗の植え方や育て方を聞き、苗植え体験や収穫体験をしている。 ・収穫した野菜を使って調理体験をしている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	21	地域の農業者から田んぼや畑を見せてもらい、作物の成長過程と生産者の作物に対する思いを伝えてもらう	・地域の農家の協力を得て、畑での植ええ、収穫体験を実施。			
保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりを通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・食育教室やお料理ごっこの際に、食への感謝について考える機会を設けている。 ・調理室に子どもが自ら出向いて調理士と会話をすることができる環境づくりをしている。給食の感想や感謝の気持ちを伝える様子が見られている。 ・毎月の給食だよりにて情報提供に努めている。				

## 酒田地区私立幼稚園・認定こども園連合会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・給食だよりや健康診断時に機を捉えておたより等で好ましい生活リズムや食生活について知らせている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	25	食環境の整備と食事時間の確保を行う	・衛生面に配慮しながら、食事の環境を整えている。 ・見通しをもって食事ができるように、時計を用いている。 ・手洗い、消毒等をしっかりと行い衛生面に配慮し配膳している。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・収穫したものを持ち帰り、家庭で調理できる機会を設けている。 ・おたより等を通して親子でできる簡単なレシピを紹介している。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	27	給食を通じて、発達段階に応じた食べる力を育む	・食材の大きさや食器、食具を発達段階や個々の食べ具合に合わせて調理士と相談しながら提供している。 ・調理段階で食品の大きさに配慮するとともに、量も調整している。 ・食器の形や大きさも発達段階に合わせて使い分けている。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	29	文化祭や収穫祭等で、食品に関する展示や体験コーナーを設置する	・保育参観等で収穫物の一部を展示している。 ・ドキュメンテーションにて情報を日常的に公開している。	○		
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・一年の予定や月の予定を決める際に計画し、取り組んでいる。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・年齢に応じた食事の仕方や食べものに興味関心がもてるような話や活動を取り入れている。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・昼食に新たな献立を提供してもらっている。 ・調理室で使用している調理器具等を見せてもらい、興味をもってもらう機会をつくっている。 ・各クラスで具材の相談や調理を行い、月毎にクラスのみそ汁献立を取り入れている。			
	行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・栽培～調理体験や発達に適した食育活動の内容を年間で計画している。			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・昼食時に行事食を提供してもらっている。 ・意味や由来などを子ども達に知らせるだけでなく、家庭にもおたより等を通して知らせている。			
	行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・園の食育に関する情報は、ブログでも知らせている。 ・ドキュメンテーションにて情報を日常的に公開している。	○		
(3) 食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・献立会議の中で残食について伝え合い、食事の量や献立について考え、次月の献立等に反映させている。 ・園児の休みを把握して食数を確実に管理(人数分の食事の準備)している。			
	保育所・教育機関	乳幼児期 小学生	83	収穫だけの農業体験ではなく、実際に土に触れ、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、命を大切に作る心や食に対する感謝の気持ちを育み、調理の技術を身につけさせるとともにそれらの活動を通して生産者との交流を深める	・さつまいもほりに向けて農家から苗の植え方や育て方を聞き、苗植え体験や収穫体験をしている。 ・収穫したものを持ち帰り、自宅でも調理し味わう機会を設けている。 ・園の畑で育てた野菜を献立に取り入れている。 ・魚の放流事業に参加している。			

## 酒田市法人保育園・認定こども園協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・毎月発行している食育に関するおたよりを配布して大切さを伝え、ポスター等を掲示。 ・酒田市が作成しためりえ(あののん・もしえのん)を活用し、子ども達が色塗りした作品を家庭に持ち帰り「食育の日」を推進。・毎月19日にホームページで知らせる。	○	・毎月の献立表に19日が「食育の日」と分かるように表記したり食育の日献立を考えていく。 ・毎月19日の「食育の日」前後に当月誕生児の親子で給食試食会の予定。 ・ホームページ、Instagram等のSNSを活用して「園の食育の日メニュー」を知らせたりする。	○
	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・マナーは年間計画に基づき実施。 ・毎月1回は詰め合わせ献立を実施し、園外や違った雰囲気給食を食べる。 ・食育出前講座を開催し、劇や栄養士さんからのお話などを通してその大切さを学んだ。 ・園での声掛けに加え家庭での取り組みのお願いをおたよりで呼びかけている。 ・楽しく食事が出来るようにテーブルの並び方で雰囲気を変え、感染対策に配慮しながら、楽しく食事が出来るような環境の配慮、食事に関しての会話を楽しみ、食欲増進に繋げている。 ・食に関する情報を子ども達に伝える為「食育ランド」と名付け実践している園もある。	○	・酒田市の食育講座の実施。 ・保育者と一緒に挨拶を大切にし、見本になるようにする。 ・ランチルームで異年齢での食事。	
	家庭	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	7	食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさまでした)を大切にする	・年齢に応じて食への感謝の思いを込めて毎食挨拶を行った。畑活動や絵本等を活用し、命を頂くことの意味を伝えた。・挨拶カードの掲示実施。	○		
	家庭	乳幼児期 小学生	8	早寝・早起き・朝ごはんを推進するとともに、歯磨きを習慣づけ、子どもの頃から望ましい生活習慣を身につけさせる	・早寝・早起き・朝ごはんは、ポスターの掲示や園だよりなどで保護者に推奨している。 ・歯磨きは3歳以上児は園でも実施し、合わせて家庭での歯磨きの大切さを知らせている。 ・以上児を対象に『生活リズムチェックシート』を配布し、生活習慣の見直しをしてもらった。家庭からの生活習慣や食事に関する悩みを園だよりに掲載した園もある。			
	家庭	乳幼児期	9	幼児期から栽培や調理に関わらせるなど、食に関する学習や体験の機会を増やす	・食育計画「カミカミレシピ」にあわせて毎月1回午後のおやつで、おにぎりを自分たちでにぎっている。 ・いも煮作り体験(ネギ・人参・さつまいもを切る、こんにやくをちぎる、等) ・以上児による当日の献立をホワイトボードにかいたり、食材を三食食品群に分けたりする作業を行っている。(やりたい人がやる)	○		
	家庭	乳幼児期 小学生	10	食事の盛り付け、運ぶ、食器を洗うなど、子どもに手伝わせ、小さな頃からできるようにする	・毎月の誕生会で、バイキング給食を楽しんでいる。 ・重ねてよい食器の数(写真)掲示。 ・食事の準備や食後の片付け等は、年齢に合わせて自分でできることを行う環境を整えている。	○		
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・おたよりで家庭に配布。 ・食育出前講座で朝ごはんの大切さを知らせた。 ・子ども達へも朝ご飯の大切さを集会で話をしたり絵本などから知らせるようにしている。			
	家庭	乳幼児期 小学生 若年期 子育て期	13	子どもだけでなく、親も一緒にテーブルマナーや箸の持ち方、主食・主菜・副菜のバランスの良い食べ方などを学ぶ	・クラスだよりで年齢に合わせた食事のマナーを知らせたり、箸の持ち方のイラストを載せたりして、家庭でも行えるようにしている。 ・食育ボード掲示。(園児実施)			
	保育所 教育機関	乳幼児期	16	保育所や認定こども園で菜園や実なる木など、食べ物が身近にある環境づくりをする	・菜園活動(トマト・きゅうり・なす・木の実・シイタケ・二十日大根・レタス・すいか・枝豆・稲・赤しそ・さつまいも・ゴーヤ等)に取り組み生長観察や収穫物での調理体験。 ・園庭にびっくりグミ・梅・ブルーベリーの木がある環境。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	17	地域と教育機関の連携を深め、農業者や高齢者から稲作や野菜作りを学ぶ	・地域の協力を頂き、庄内米をテーマにした活動を行った。 ・地域の方や祖父母から指導を受けての野菜づくり。			
保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	18	食事の適切な量を選択し、食べ物を粗末にしない	・バイキング給食を実施し適切な量を自分で盛り付ける。 ・盛り付けの際自分で食べられる量を伝えて完食できるように量を調整している。 ・一人一人が自分の食事の適切な量を選択できる環境を作っている。	○			
保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	19	子どもに栽培活動を通じて、世話の大変さや育ちの驚き、収穫の喜びを体験させ、食べ物への関心を持たせる	・野菜やお米の栽培を通して、その成長過程を観察しながら大きくなる喜びや、収穫できる喜びを体験している。 ・絵本と関連づけ、野菜の葉や種がどんなものか、切った断面はどんなふうになっているかなど興味を引き出すような働きかけもしている。	○	・色々な野菜、珍しい野菜など育ててみたい。また、収穫したものから、加工品(味噌・納豆・豆腐・梅干し・漬物等)にもチャレンジしたい。		

## 酒田市法人保育園・認定こども園協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生	20	収穫だけの農業体験ではなく、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、食を生産することの大変さや、食の大切さを伝える	・栽培活動を通して、生長観察や水やり、草取り等の世話の大変さなどを体験し、収穫した野菜でのクッキング活動を行い食の大切さを伝えている。	○		
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生	21	地域の農業者から田んぼや畑を見せてもらい、作物の成長過程と生産者の作物に対する思いを伝えてもらう	・なるべく地元の農家等から食材を購入。(米、枝豆、とうもろこし、梨、醤油等)			
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりを通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・お箸のマナーに関するクイズを掲示した。			
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・全体への実施だけでなく個別に面談等を行い、生活環境全般を把握した上で、時間をかけて進めていくようにした。			
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	25	食環境の整備と食事時間の確保を行う	・各年齢に合わせた給食時間の設定と環境の整備は実施している。年長はできるだけ小学校の時間に合わせた設定とし、先を見据えた取り組みをするようにしている。			
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・定期的に旬の食材を玄関に掲示しその食材を使ったおすすめメニューを保護者から募集し、その集計も掲示や給食だよりで知らせ、親子で関心を高めていけるようにした。 ・育てた野菜を販売し、その野菜を使った料理のレシピを袋に貼ったり、給食試食会の時に簡単な手作りおやつレシピを紹介したりして、簡単なお手伝いで作ることが出来るメニューを紹介している。	○		
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生	27	給食を通じて、発達段階に応じた食べる力を育む	・年齢に応じた食材の刻み方、量等の配慮をし成長を促した。			
	保育園 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	29	文化祭や収穫祭等で、食品に関する展示や体験コーナーを設置する	・地域のふるさと祭りで年間テーマにあわせた毎月の誕生会や手作りおやつ等のメニュー写真展示コーナーを設置する。 ・食に関してのごっこ遊びの実施。	○		
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・食育の計画を作成し、実施、推進体制の整備を行った。毎年1～3月の間に来年度へ向けての見直しを行っている。 ・法人保育園・認定こども園の調理員合同での情報交換会を行っている(年3回)	○		
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・新入園児には、家庭でなじんだ物や、食べやすいメニュー等から慣れさせるようにした。 ・0歳児・1歳児・2歳児・以上児ごとに食育計画を作成している園もある。家庭での食事の様子や気に入っている食材、料理、今の流行り物など、保護者からの情報や子ども達からの情報も含め、様々な情報収集をしながらその時々にあった食育活動を行っている。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・年間テーマや、行事、季節の献立を取り入れ、喜んでもらえるように工夫する。 ・旬のお魚の模型を給食室前に展示している。 ・ゲームやお芝居など創意工夫した活動を実施した。	○		
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・地域に向けておたよりで発信している。	○		
行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・食育の計画を職員間で共有し、実施後は報告を行った。				
行政	全体	53	広報紙やマスメディアを使った食育のPRを行う	・園のホームページに今日の給食とおやつの写真に掲載する。 ・食育がメインではないが地域広報を作成し学区内の地域に回覧している。	○		・食育メインの広報誌の作成も考えて行きたい。	



## 酒田市法人保育園・認定こども園協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	行政	全体	54	家庭、教育機関、PTA、地域等が連携し、一緒になって食育についての機運を高め、活動していく	・芋掘りでは年長児の保護者の参加を呼びかけ一緒に活動し、親子で関心をもてるようにした。		・小学校との連携で、学校の先生をお招きして、年長児との給食試食会など企画したい。	
	地域	全体	63	地域の人々との共食の機会を設け、食事の楽しさを感じてもらおうとともに、栄養バランスなど健康に配慮した食事を意識づける	・収穫感謝祭で、地域のお世話になった方をお呼びして子ども達と一緒に給食を食べた。(うどん屋さん) ・食育企画で収穫したさつまいもを天ぷらに、お米はおにぎりにしてうどんと一緒にバイキング形式にしてうどん屋さんごっこをして食べた。		・芋煮会で自園でとれたさつまいもを使い、地域の方々とクッキング活動を行う。	
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・季節の行事食やおやつを給食で提供している。 ・由来『何でこの食材を使うのか、どんな意味があるのか等(酒田祭り料理・笹巻き・芋煮汁・もって菊のお浸し・大黒様料理・冬至かぼちゃ・おせち料理・寒だら汁など)』	○	・七夕に短冊や七夕飾りを製作後、会食を行う。	
	行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・園のホームページで発信した。	○	・園のホームページで継続して発信。 ・地域広報への写真掲載など予定。	○
(3) 食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・食べ残し等の生ごみから有機肥料を作り、家庭菜園の土作り、栽培、収穫と自然サイクルを意識した活動を実施した。			
	保育所・教育機関	乳幼児期 小学生	83	収穫だけの農業体験ではなく、実際に土に触れ、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、命を大切にする心や食に対する感謝の気持ちを育み、調理の技術を身につけさせるとともにそれらの活動を通して生産者との交流を深める	・地域の方達が畑や田んぼを提供して下さり、実際に田んぼに入って田植え体験をしたり、広い畑にさつまいもの苗を植えて秋に収穫したり、園のプランターで野菜の栽培をして、生長を観察しながら大きくなる喜びや、収穫の体験をしている。水やりや肥料など畑の先生に教わりながら育て、収穫したものをクッキングしたり販売したり、給食で食べたりと食育活動に取り入れている。			

## 酒田市公立保育園

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・食育だよりを家庭に配信している。	○		
	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・食育だよりを家庭に配信している。 ・食育計画に基づき給食で実施 ・クッキングを通して収穫の喜びや、食事の楽しさを感じた ・個人用のお盆を使用し、食器を置く場所等がわかるようにした	○		
	家庭	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	7	食事のあいさつ(いただきます、ごちそうさまでした)を大切にする	・当番活動や調理室に給食を取りに行く際等にも、挨拶を行っている ・絵本や紙芝居等を通して挨拶への関心がもてるようにした			
	家庭	乳幼児期 小学生	8	早寝・早起き・朝ごはんを推進するとともに、歯磨きを習慣づけ、子どもの頃から望ましい生活習慣を身につけさせる	・歯科健診での歯科医による歯磨き指導 ・ヤクルト出前講座 ・看護師や花王による手洗い、歯みがき講座	○		
	家庭	乳幼児期	9	幼児期から栽培や調理に関わらせるなど、食に関する学習や体験の機会を増やす	・果物のまるごと体験(おやつの前に、匂いをかぐ、触る、断面を見る等) ・給食の食材の買い物等をしたり、八百屋や魚屋等の見学をして食への関心を高める ・自分たちで栽培したものを通してクッキングを実施			
	家庭	乳幼児期 小学生	10	食事の盛り付け、運ぶ、食器を洗うなど、子どもに手伝わせ、小さな頃からできるようにする	・自分で食べられる量を選んだり、自分の食べるものを運ぶ、また、片づける等している ・バイキング給食の実施			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・献立表、食育だより等で各家庭に情報を配信している ・食生活改善推進による食ベレンジャーの講座	○		
	家庭	乳幼児期 小学生 若年期 子育て期	13	子どもだけでなく、親も一緒にテーブルマナーや箸の持ち方、主食・主菜・副菜のバランスの良い食べ方などを学ぶ	・ヤクルト出前講座で、健康な身体づくりについて学んだ ・食育だより等で情報を配信した	○		
	保育所 教育機関	乳幼児期	16	保育所や認定こども園で菜園や実のなる木など、食べ物が身近にある環境づくりをする	・畑やプランターでの野菜の栽培を行っている ・柿や栗等の収穫体験を行った			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	17	地域と教育機関の連携を深め、農業者や高齢者から稲作や野菜作りを学ぶ	・農業者の畑作りの様子を見たり、指導を受けて野菜作りを行った			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	18	食事の適切な量を選択し、食べ物を粗末にしない	・自分で食べられる量を選び、残さず食べられるようにし、食べる意欲に繋げた			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	19	子どもに栽培活動を通じて、世話の大変さや育ちの驚き、収穫の喜びを体験させ、食べ物への関心を持たせる	・野菜を育てたり、水やり等をする事で、野菜の生長に気付いたり、収穫する喜びを体験した ・収穫したものを調理してもらう前に、自分たちで、皮をむく、種を取る等のお手伝いをして食べ物への関心を高めた ・収穫したものを使ってクッキングを実施した			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	20	収穫だけの農業体験ではなく、植え、育て、収穫し、調理して食べるまでの一連の作業を通じて、食を生産することの大変さや、食の大切さを伝える	・種まき、苗植え、生長の観察、収穫をしたり、収穫したものを調理してもらい食べる事で食への関心を高めた			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりを通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・食育便りの配信をしたり、絵本や紙芝居での読み聞かせをした ・調理員との交流の中で、作ってもらうことへの感謝の気持ちを育てている	○		
保育所 教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・園だよりや食育だより等を通して、生活リズムの大切さを伝えている	○			

## 酒田市公立保育園

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	25	食環境の整備と食事時間の確保を行う	・ランチルームでの食事、異年齢での会食衛生面に配慮して配膳を行っている ・栄養士による離乳食の相談を行っている			
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・食育便り等を通してレシピを提供したり、家庭でのクッキングの呼びかけを行った	○		
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生	27	給食を通じて、発達段階に応じた食べる力を育む	・離乳食や幼児食等の発達段階に応じた食事の提供や、食具の提供を行っている			
	保育所教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	29	文化祭や収穫祭等で、食品に関する展示や体験コーナーを設置する	・保育参観での離乳食試食会 ・離乳食や食具の展示			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・食育計画の作成			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・各年齢に合わせて、食具の使い方、食事のマナー等を知らせている ・絵本、紙芝居等を通して食への関心を高めている ・食生活改善推進員等による食育講座を実施			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・食への関心が高まるように、野菜の下処理をしたり、八百屋への食材の買だし、ランチルームの利用やバイキング給食を行い、食への関心を高めている			
	行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・食育計画を作成し、園内で共有している			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・食材(野菜)の皮むきの手伝い ・八百屋への食材の買い物			

## 酒田飽海PTA連合会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	家庭	全体	2	家族や友だちと食卓を囲み、会話をしながら食事の楽しさを感じ、マナーやあいさつ、食への感謝の気持ちを高める	・PTA研修会で「弁当の日」という映画上映を行い、その後、意見交換会を行った。			
	家庭	乳幼児期 小学生	10	食事の盛り付け、運ぶ、食器を洗うなど、子どもに手伝わせ、小さな頃からできるようにする	・研修会では、「弁当の日」を設け、自分一人の力で弁当を作る日を設けることにより、食の大切さを知らせることができたということに対して、子どもに料理(弁当を作らせる)について意見交換を行った。			
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生 子育て期	26	親子の料理作りを呼びかけるなど、家庭内での食育の機運を醸成する	・各家庭に呼びかけたとき、実施できるかどうか、どうしたら実施できるのか、意見交換を行った。			

## 酒田地区医師会十全堂

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	41	医師会が、健診や人間ドッグの集団説明会等において、各専門分野に応じた食と健康についての知識の普及活動を行う	・健診、人間ドッグの集団説明会等を通して、生活習慣病と食について医学的見地から普及活動を行っている。			

## 酒田地区歯科医師会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	家庭	全体	15	自身や家族の歯と口腔の健康づくりに取り組む	・市民公開講演会の開催。 ・在宅療養者に対し歯科衛生士や栄養士などを訪問させる。 ・酒田市と妊産婦検診を実施。(パートナーも) ・若年者健診時に歯周疾患検診を実施。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	32	各種イベント、講演会の開催や講師派遣を行う	・市民公開講演会の開催(2023.12/16(土)14時~15時) ・在宅関連研修会 ①2023.12/17(日) ②2024.1/31(水) ・ケアマネージャーとの意見交換会 ・歯科合同研修会の開催 2023.12/12(火)			

## 酒田市食生活改善推進協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	家庭	全体	3	1日3食の規則正しい食事を心がける	・栄養教室にて研修・呼びかけ(各コミセンにて年3~6回)。			
	家庭	全体	5	自宅での料理の機会を増やす	・研修したレシピを自宅で活用。 ・料理本(酒田ごはん・ありがとうレシピ)の活用。 ・市HP掲載料理の実践。			
	家庭	全体	6	減塩や野菜・果物の摂取など、栄養バランスに配慮した食事を心がける	・リーフレットを活用し、減塩・野菜摂取の啓発。 ・バランスの良い食事を周知。 ・食生活チェックシートを活用。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・食育ボランティアを募り、出前講座を実施(乳幼児)。 ・親子の食育・料理クラブに協力(小学生)。 ・調理実習のサポート(中学生)。 ・若者向けレシピの配布(大学生)。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	33	食生活改善推進員(食育アドバイザー)による食育出前講座を開催する	・男性の料理にて、講話と実習。 ・高齢世代(シニアカフェ)にて、講話と実習。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	43	食生活改善推進員(食育アドバイザー)による食育の推進を行う	・高齢者のふれあい給食(弁当)作りに協力。 ・健康に関するイベントに協力。 ・地区文化祭で資料配布・試食品提供。			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・「笹巻き」作りを地域住民と行う。 ・「酒田ごはん」を参考に行事食作り。 ・中学生と「いも煮」を調理。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業	乳幼児期 小学生	72	料理教室に講師を派遣する	・No.12と同じ。 ・郷土料理作り(米・鮭料理・納豆汁 等)			
	行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・レシピ本「酒田ごはん」の宣伝・販売に協力。 ・市HP「食改さんのおすすめレシピ」掲載。 ・つや姫ハーフマラソンに協力。			

## 山形県栄養士会酒田地域事業部

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	32	各種イベント、講演会の開催や講師派遣を行う	・北庄内食援隊研修会に講師派遣。(3月実施) ・酒田調理師専門学校こども食堂での食育活動。(12月実施) ・酒田地区歯科医師会との研修会予定。(2月予定)			

## 酒田市社会福祉協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	36	支援を必要とする子どもへの食事提供や孤食解消、地域交流の場づくり等のため、子どもの居場所づくりを推進するとともに、子ども食堂における地産食材の積極的利用を図る	・寄付していただいたフードバンクの食料品の一部を、子ども食堂に提供するとともに、市の子ども未来課(こども家庭センター)を通して、支援が必要な家庭に対しても提供した。			
(2)食を学び、食を受け継ぐ	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	71	介護・福祉サービス事業所等で利用者に郷土料理を紹介する	・地元で採れた食材を使用した郷土料理の提供に努めている。行事食についても行っている。			

## 食の都庄内親善大使

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(2)食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・大学生から庄内地域の「食」の魅力について理解を深めてもらう体験事業『旬の食材 味わいキッチン』にて、郷土料理をアレンジし庄内の食材を用いた「カラトリ芋とカニかまぼこの山菜あんかけ」「干し柿と庄内豚生ハムと菊いろいろなます」を考案し、講師を務めた。(12/9実施) ・酒田日本海寒鱈まつりのイベントに参加し、寒鱈を使った創作弁当を出店予定(1月末)。			
(4)食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・「ニジサクラ取扱店」を県HPに掲載し、本格的な販売促進を開始。	○		
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	100	地産農林水産物の利用拡大(地産地消)を進める	・割烹東京の味佐々木の総監として協力(11/15)。庄内の食材を使用し宣伝(魚・肉・野菜等)。 ・庄内で水揚げされた活イカを宣伝するため、「イカ部会」を結成。			

## 酒田金融協会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(3)食を知り、食に感謝する	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	94	各種宴会や懇親会等で終了前に提供されている料理を食べる時間を設け、食べ残しを削減する	・各種会合にて、料理を食べる時間として閉会前の20分程度を設け、趣旨施策の実施をしている。			

## 酒田商工会議所

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	75	歴史に根ざした京文化や洋食文化など、地域の風土を活かした料理や食の知識を伝えていく	<ul style="list-style-type: none"> <li>「地場食材の講話と食事会」を7/13に開催した。</li> <li>■講師 株式会社 花鳥風月 代表取締役 佐藤 勇太氏</li> <li>■テーマ 「庄内産小麦から学んだ地域内循環型経済圏の必要性」</li> <li>※講演会終了後、「海老ワンタンメン」美食。</li> </ul>		・「地場食材の講話と食事会」(予定)	

## 酒田ふれあい商工会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・郷土の食文化を伝承するため、身近な地域食材を活用した郷土料理のレシピ本は、現在制作中(R5年12月)で、令和6年3月に発行予定である。			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・ふるさと納税返礼品の登録件数は8月末と変わらず1件。今後も登録件数を増加させる活動を継続する。	○	・ふるさと納税返礼品の登録件数の増強は令和6年度も継続していく。	

## 庄内みどり農業協同組合

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	36	支援を必要とする子どもへの食事提供や孤食解消、地域交流の場づくり等のため、子どもの居場所づくりを推進するとともに、子ども食堂における地場産食材の積極的利用を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内(酒田市及び遊佐町)にある、つるかめ食堂、酒調子ども食堂、酒田市子ども食堂、ゆうゆう食堂へ食材提供(庄内砂丘メロン5kgを計8ケース)。</li> <li>・庄内ちいき食堂、つるかめ食堂、酒田市子ども食堂、ゆうゆう食堂へ食材提供(シャインマスカット150g/パックを計95個)。</li> </ul>			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	39	親子料理教室などの食の交流会を開催する	・R5.7.1女性部親子料理教室ではなく、親子園芸教室を園芸課より指導していただき実施。19組37名が参加し、トマトベリを植えた。			
(3) 食を知り、食に感謝する	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	89	農家民宿の開設による、食文化の伝承や消費者と生産者の交流の拠点づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・7月下旬にJA庄内みどり青年部事業による「田舎まるかじりツアー」を開催した。</li> <li>・都市部の高校生を対象に夏休み期間を利用し、旬の地場農産物を味わってもらい、知ってもらうための2泊3日の体験交流ツアー(コロナの状況から、民泊は行わなかった)。</li> </ul>			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	小学生	92	バケツ稲栽培の資材の提供、田植え、稲刈り体験を指導する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JA庄内みどり青年部主催</li> <li>①首都圏小学校(62校)へ水稲苗の無償提供</li> <li>②JA管内(酒田市及び遊佐町)小学校9校による田植え・稲刈り体験への協力</li> <li>※首都圏の苗の提供に付随して、苗を提供した小学校の内、23校の東京・神奈川の小学校へ出前授業を行った。また、授業を希望する小学校へ『ZOOM』などを使用してWEB授業を行った(10校 13時限対応)。</li> </ul>			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	100	地場産農林水産物の利用拡大(地産地消)を進める	・管内(酒田市及び遊佐町)の中学校3年生へ合格祈願米を提供(300g/パックを計966個)。			

## 酒田市袖浦農業協同組合

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	32	各種イベント、講演会の開催や講師派遣を行う	・直売所いちご畑での朝市の開催。 ・JAピアホール開催。 ・直売所いちご畑での収穫感謝祭の開催。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	36	支援を必要とする子どもへの食事提供や孤食解消、地域交流の場づくり等のため、子どもの居場所づくりを推進するとともに、子ども食堂における地場産食材の積極的利用を図る	・こども食堂へ庄内柿、食育資材贈呈。			
(3)食を知り、食に感謝する	全体	全体	80	地域全体で食べ残しや廃棄される食材の減少など、環境に配慮した取り組みを推進する	・バケツ稲栽培の資材を地元小学校へ提供。育苗施設見学。田植え体験。稲刈り体験。			
(4)食でつながり、食を発信する	生産者・農林水産業団体	全体	97	地場産農林水産物を活用した6次産業化の取り組みによる商品開発を推進する	・地域保育園へ給食食材として地場産野菜などを納品。			

## 山形県漁業協同組合

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・広報誌「すいさん山形」を隔月で発行し、庄内浜で今あがっている魚をランキング形式で載せて旬を伝えるとともにHPにも掲載。	○		
	生産者・農林水産業団体	全体	98	地場産農林水産物の販路拡大及び販売促進を図る	・県行政と県卸売協会と連携し、内陸部での庄内浜産魚販売促進の取組として、量販店で春と秋に旬の魚キャンペーンを実施。	○		

## 酒田市認定農業者会議

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1)食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	32	各種イベント、講演会の開催や講師派遣を行う	・研修会を実施(6月)。 ・酒田市生産組合と合同で、新米の食べ比べとR5年度の稲作について研修会を開催(10月)。			



## すくすくあぐりネット

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	39	親子料理教室などの食の交流会を開催する	・料理研究家の女性1名入会。		・親子料理教室を実施したい。	
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・定期便(毎月)への広報誌同梱。その時々々の庄内の様子や、農作業、農産物の生育状況や紹介など。同梱野菜のレシピ(農家メシ、郷土料理、流行のレシピ…など)。			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・普及課より主催して頂き、手習塾を開催。知憩軒・長南光氏を講師に迎え梅干し作りを行った。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	73	アンテナショップ「麦わら帽子」への地場産食材の出品を促進する	・3~4回/週出荷(米・野菜・加工食品)			
(3) 食を知り、食に感謝する	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	91	保育所、認定こども園、小学校の農林漁業体験、中学校のインターンシップの受け入れを行う	・メンバー各自で収穫体験、職場体験を積極的に受け入れている。 ・幼稚園、保育園(サツマイモの定植・管理・芋掘り体験)小学校(田植え・稲刈り・試食)、中学校(職場体験)			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	93	直売所での販売を拡大し、生産者と消費者の信頼関係を強めていく	・直売の開催(市役所・社会福祉協議会/月1回)日本海病院/月2回(5月~11月) ・無印良品にて直売(12月末)			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	94	各種宴会や懇親会等で終了前に提供されている料理を食べる時間を設け、食べ残しを削減する	・2月新年会予定。食事時間を設ける。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	96	収穫・加工体験と学びのプログラムを実施し、親子で循環型社会の仕組みや食の大切さを学ぶ	・メンバー1名が新規に加工施設を設置。		・郷土料理、味噌づくりを親子参加型で予定。	
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・YouTube配信、Facebook活用。			
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	104	市内の直売施設や小売店のほか、学校や医療機関、福祉施設などの給食提供施設等に対して6次産業化商品の利用や販売を働きかけ、消費拡大を図る	・田園調布学園での料理教室を通して、農林水産物・郷土料理を紹介。アンテナショップ「麦わら帽子」で販売していること、ネット販売のPRをおこなった。			

## 酒田市グリーン・ツーリズム推進協議会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の取組(実績)	「デジタル」関連取組	令和6年度の取組予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(3) 食を知り、食に感謝する	家庭	全体	82	農林漁業体験へ参加し、食材の生産現場に理解を深めることで地元産食材へ愛着を持つ	・協議会会員それぞれが提供する農業体験の際に、生産現場の現状や地元産の農産物について体験者に伝えている。	○		
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	86	農業体験活動等を通して、食育の推進を行う	・野菜・果物の収穫体験や料理教室を実地し、食育の推進に取り組んでいる。	○		
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	87	グリーン・ツーリズムの県外からの受け入れ態勢を整備する	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みつつ、受け入れ態勢を整備している。	○		
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	88	農林漁業体験活動の充実を図る	・体験メニューを記載したガイドマップを活用し、農業体験を提供している。	○		

## 酒田観光物産協会

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	74	生産者と消費者との交流等を推進し、地域の食文化や農業について学ぶ食農教育を、地域も巻き込んで幅広く展開する	・当協会のホームページ「酒田さんぽ」により、地場産品素材(幅広い商品構成)を使った商品のPRを行っている。		・当協会のホームページ「酒田さんぽ」「ネットショップ」により、地場産品素材(幅広い商品構成)を使った商品のPRを拡充。	
(3) 食を知り、食に感謝する	保育所・教育機関	小学生 中学生 高校生	84	地元企業の見学などにより地場産農産物の加工や流通について学び、6次産業化の意識づけを行う	・小、中学校の職場体験の受け入れは2小学校で勉強会を行う。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	96	収穫・加工体験と学びのプログラムを実施し、親子で循環型社会の仕組みや食の大切さを学ぶ			・いろは蔵開設に向け大根堀収穫体験など農産物体験や加工品体験が出来る生産者の開拓を行う。	
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・ネットショップ「酒田観光物産協会《直行便》」全面リニューアルし洋梨や新米のほか米粉を使用した新たな地場産品に拘った商品開発と販売を図った。			
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	101	農産物直売所の紹介などにより、地場産農産物を購入できる場所の情報を発信する			・いろは蔵開設に向けた農産物取り扱い商品販売のため約80生産者の新規開拓を行う。	

## 酒田市健康福祉部高齢者支援課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	行政	全体	61	介護予防や栄養に関する知識の普及活動を行う	・(栄養口腔講座)生活の質の維持向上を図ることを目的に、管理栄養士、言語聴覚士、歯科衛生士等の医療専門職から適切な指導や助言を実施。低栄養、誤嚥性肺炎、認知症、オーラルフレイルや要介護状態を予防するための講座を開催。6会場計14回実施。 ・(介護予防活動支援事業)いきいき百歳体操実施団体の希望するところに、管理栄養士から低栄養予防の指導や助言を行った。			

## 酒田市健康福祉部保育こども園課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生	22	地域や家族に食育の推進を呼びかけ、一緒に活動を行う	・保育所ICTシステムで、毎月給食だよりを配信し、旬の食材を使用した献立や年齢に応じた食事内容についてお知らせしている。 ・食品業者とタイアップした食育活動を実施(2回実施)	○		
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	23	給食や給食だよりを通じて、食に対する感謝の気持ちやマナー等を身につけさせる	・保育所ICTシステムで、毎月給食だよりを配信し、旬の食材を使用した献立や年齢に応じた食事内容についてお知らせしている。	○		
	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生、中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・食生活改善推進委員と一緒に、食育講話(食ベレンジャー)を開催している。(3園で実施)			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・各公立保育園で年間計画を作成し、その計画に基づきクッキング等を実施している。			
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・保育所ICTシステムで、毎月給食だよりを配信し、旬の食材を使用した献立や年齢に応じた食事内容についてお知らせしている。 ・食品業者とタイアップした食育活動を実施(2回実施)	○		
	生産者・ 農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・食品業者とタイアップした食育活動を実施(2回実施) ・食生活改善推進委員と一緒に、食育講話(食ベレンジャー)を開催している。(3園で実施)			
	行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・各公立保育園で年間計画を作成し、その計画に基づきクッキング等を実施する際、衛生面や作業面で助言を行っている。			
	行政	乳幼児期 子育て期	57	乳幼児の食事体験の場の提供を行う	・各公立保育園で、希望者を対象に離乳食体験を実施している。			
行政	乳幼児期 子育て期	58	就園前児童の保護者や親子を対象とした研修会や料理講習会を行う	・食品業者とタイアップした食育活動を、支援センターで実施(2回実施)				
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・酒田まつりの時期に、にらますやうどんのあんかけを給食で提供した。 ・庄内風芋煮や、菊のごま和え、なすごんげなどの郷土料理を提供した。			
	保育所・教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	67	郷土料理や行事食を取り入れた給食の献立作りを促進する	・酒田まつりの時期に、にらますやうどんのあんかけを給食で提供した。 ・庄内風芋煮や、菊のごま和え、なすごんげなどの郷土料理を提供した。			
	生産者・農林水産業 団体・企業	子育て期	70	保護者会のほか、園だよりや給食だよりの発行などにより、保護者に食育の啓発を行う	・保育所ICTシステムで、毎月給食だよりを配信し、旬の食材を使用した献立や年齢に応じた食事内容についてお知らせしている。	○		
	行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・法人保育園の園児が栽培したさつま芋を市役所で対面販売し、栽培から流通までの流れを体験をした。			
(3) 食を知り、食に感謝する	行政・生産者・農林水 産業団体・企業・団体	全体	94	各種宴会や懇親会等で終了前に提供されている料理を食べる時間を設け、食べ残しを削減する	・課内の懇親会で声掛けを実施し、持ち帰りが可能であれば持ち帰っている。			
	行政・生産者・農林水 産業団体・企業・団体	全体	95	食品ロス削減のための啓発を図る	・給食提供の際、自分の食べられる量に合わせて、量を加減している。			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産 者・農林水産業団体・ 企業・団体・飲食事業 者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・旬の食材を使用した給食献立を、保育所ICTシステムで、毎月保護者に配信している。	○		

## 酒田市健康福祉部健康課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・市ホームページに毎月19日は「食育の日」、について掲載している。	○		
	家庭	全体	3	1日3食の規則正しい食事を心がける	・食生活改善推進員中央研修会において、生活リズムと食事の重要性についての研修を行った。			
	家庭	全体	6	減塩や野菜・果物の摂取など、栄養バランスに配慮した食事を心がける	・山形県食生活改善推進協議会自主事業の取り組みで、「減塩・野菜摂取啓発」のためのリーフレットを配布する活動を行った。 ・食生活改善推進員中央研修会において、減塩や野菜・果物の摂取など、栄養バランスに配慮した食事の重要性についての研修を行った。			
	家庭	中学生 高校生 大学生 若年期	11	自分の適正体重を把握し、無理なダイエットや肥満を防ぐ	・マタニティ教室でやせや肥満の健康への影響を説明し、適正体重の保持について講話を行った。			
	家庭	乳幼児期 小学生、中学生 高校生、大学生 若年期	12	1日3食きちんと食べる習慣を身につけさせる 特に朝食は毎日食べるように心がける	・乳幼児健康診査時に「食事習慣」、「生活習慣を見直してみよう」の掲示をし、朝ごはんは毎日できるだけ同じ時間に食べましょう等について掲載した。 ・食生活改善推進員と保育こども園課と協同で、「食ベレンジャー」の寸劇や紙芝居で、乳幼児対象の食育出前講座を行った。			
	家庭	乳幼児期 小学生 若年期 子育て期	13	子どもだけでなく、親も一緒にテーブルマナーや箸の持ち方、主食・主菜・副菜のバランスの良い食べ方などを学ぶ	・乳幼児健康診査時に「食事環境」、「食事習慣」、「はしの持ち方・選び方」を掲示し、テーブルマナーやあいさつ、箸の持ち方について掲示した。 ・食生活改善推進員と保育こども園課と協同で行う、「食ベレンジャー」の機会にマナーについても講話を行った。			
	家庭	全体	14	適切な質と量の食事と適度な運動を実践する	・食生活改善推進員と保育こども園課と協同で、「食ベレンジャー」の寸劇や紙芝居で乳幼児対象の食育出前講座を行った。 ・糖尿病・高血圧予防教室を行い、参加者の希望に応じて、自宅で実践できる生活習慣改善に関する資料を郵送したり、運動教室や栄養講話を行った。 ・特定保健指導の個別面談で適切な食事量について指導を行った。 ・特定保健指導で希望者を対象に運動教室を行った。			
	家庭	全体	15	自身や家族の歯と口腔の健康づくりに取り組む	・2歳児歯科健診時に「子どものおやつ」について説明した。 ・3か月児健診、9か月健康相談で歯の講話をした。 ・歯科衛生士による地区健康講座を行った。 ・アンダー40健診時に、歯科医院への定期受診を呼びかけをした。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	44	食事と健康についての正しい情報を提供する	・食生活改善推進員中央研修会において、生活リズムと食事の重要性についての研修を行った。 ・市HPに、貧血予防や脂質異常症予防等の疾病予防に関する情報と、献立を掲載した。	○		
	行政	全体	47	各地域での食生活改善をサポートする食生活改善推進員を養成し、その育成に努める	・食生活改善推進員養成講習会を実施し、9名が受講・修了した。			
	行政	全体	51	市主催の食育出前講座を食生活改善推進員と協同で行い、推進員の育成に努める	・出前講座に協力できる食改推進員を対象に食育ボランティア研修会を実施し、教材づくりや調理実習を行った。			
	行政	全体	52	親子料理教室などの食の交流会を開催する	・地域で食生活改善推進員が開催する際、献立や献立表作成に協力した。			
	行政	全体	53	広報紙やマスメディアを使った食育のPRを行う	・食生活改善推進協議会と協同で、「食改さん(酒田市食生活改善推進員)のおすすめレシピ」を作成し、市HPに毎月掲載した。 ・R1年度に出版したレシピ本「酒田ごはん」の販売を書店に委託した。	○		
	行政	全体	55	メタボリックシンドロームに関する知識の普及と「食事バランスガイド」の活用を図る	・特定健康診査で栄養の個別相談を行った。			

## 酒田市健康福祉部健康課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	行政	若年期	56	妊婦を対象とした食に関する情報提供を行う	・マタニティ教室を中心に妊婦を対象とした食に関する情報提供を行った。	○		
	行政	全体	59	乳幼児健診及び健康相談において栄養相談を実施する	・離乳食教室を開催し、離乳食の実演と、試食体験を行った。 ・乳幼児健康診査で栄養の集団指導や個別相談を行った。	○		
	行政	全体	60	特定健診や特定保健指導において、個々に合わせた情報の提供を行い、生活習慣病の予防と改善を支援する	・特定健康診査で栄養の個別相談を行った。			
	行政	全体	61	介護予防や栄養に関する知識の普及活動を行う	・高齢者支援課や地域包括支援センターと協同で既存の通いの場にて、生活習慣病の重症化を予防するための食習慣について講習会を行った。			
	行政	全体	62	栄養指導の実施や、講演会、各種料理教室などの開催を通じ、食と健康に関する知識の普及活動を行う	・電話、来所、訪問での栄養相談を実施した。 ・市出前講座や地区出前講座で、食と健康に関する知識の普及を行った。			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・食生活改善推進協議会と協同で、「食改さん(酒田市食生活改善推進員)のおすすめレシピ」を作成し、市HPに毎月掲載した。 ・R1年度に出版したレシピ本「酒田ごはん」の販売を書店に委託した。	○		

## 酒田市地域創生部交流観光課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(4) 食でつながり、食を発信する	行政	全体	108	商談会等のイベントや補助事業等の情報提供、国内外で行われる商談会等への出展の支援を行う	・酒田DMOの活動を支援。台湾企業との商談会の開催、メロンの輸出、台中市でのプロモーションの実施。		・引き続き、酒田DMOが台湾と国内向けの地元農産品の販路拡大に努めていく。	
	行政	全体	110	ふるさと納税における地場産農林水産物を使った返礼品の出品を促す	・地場産農林水産物を使った返礼品の開発に継続的に取り組んでおり、今年度は提供事業者と協力してフルーツ定期便などのラインナップを重点的に増やした。		・引き続き、提供事業者と協力して新規返礼品の開発に取り組む。	

## 酒田市地域創生部商工港湾課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(4) 食でつながり、食を発信する	行政	全体	107	地場産農林水産物を利用した加工品の開発や販売に対して支援する	・新ビジネス・商品開発・実証プロジェクト応援補助金による新商品開発支援を実施した(柿酢や甘酒を原料にしたドレッシングソース、庄内柿の干し柿など)。		・新ビジネス・商品開発・実証プロジェクト応援補助金による新商品開発支援を実施予定。	
	行政	全体	108	商談会等のイベントや補助事業等の情報提供、国内外で行われる商談会等への出展の支援を行う	・メルマガによるイベントや補助金等の情報発信を行った。 ・販路開拓支援補助金による、商談会等への出展支援を行った。		・メルマガによるイベントや補助金等の情報発信を行う。 ・販路開拓支援補助金による、商談会等への出展支援を行う。	
	行政	全体	111	ネット販売を促進する	・EC販路拡大に課題を持つ事業者に対し専門家派遣による支援を実施した(農業法人1社)。		・EC販路拡大に課題を持つ事業者に対し専門家派遣等による支援を実施する。	
	行政	全体	112	商品開発や販路開拓など6次産業化に関するセミナーを開催する	・農商工連携による商品開発事例やマーケットインの考え方を紹介するセミナーを実施した(2024/1/17予定)。		・農商工連携による商品開発・販路開拓に関するセミナーを開催する。	

## 酒田市教育委員会企画管理課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	保育所・教育機関	乳幼児期 小学生 中学生	67	郷土料理や行事食を取り入れた給食の献立作りを促進する	・毎月19日に「食育の日献立」を実施し、旬の食材を使用した献立を提供している(8、3月除く)。			
	保育所・教育機関	小学生 中学生	69	学校給食における地産地消の充実を図る	・週5回酒田産米の米飯給食を実施している。 ・酒田産米つや姫給食を4回、雪若丸給食を3回実施(11、12月) ・1、2月にそれぞれ1回ずつ雪若丸給食を実施予定 ・酒田産米粉を使用した米粉パン給食を2回実施(9、10月) ・県補助金を活用した県産食材の提供(県産野菜、県産フルーツゼリー、米粉パン)			
	生産者・農林水産業団体・企業	子育て期	70	保護者会のほか、園だよりや給食だよりの発行などにより、保護者に食育の啓発を行う	・毎月1回給食だよりを発行し、郷土料理、行事食に関する情報提供を行った。 ・毎月19日の食育の日献立に合わせて、食育の日だよりを発行し、情報提供を行った。			
(3) 食を知り、食に感謝する	家庭	全体	81	地場産農林水産物を食事(離乳食を含む)に積極的に取り入れる	・給食だよりに地産地消について掲載した(10月)			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政	全体	109	学校給食に取り入れやすい商品開発を行うためのアドバイスを行う	・(株)山形飛鳥の「いかバーグ」を学校給食で取り入れやすくするため配合を調整していただき11月の学校給食で提供した。			

## 酒田市教育委員会学校教育課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所 教育機関	乳幼児期 小学生 中学生 高校生	24	生活リズムへの取り組みや調査、栄養指導を行う	・年間数回の「生活リズム調べ」で、朝食の栄養バランス等を含めて、意識づけを図っている。			
	保育所 教育機関	小学生	31	企業やプロスポーツ組織などと連携し、学校において食育授業や交流給食などを行う	・小学校11校で、アランマーレ山形バレーボールチームによる食育講座を実施した(6月)。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	35	団体ごとに食育についての計画を作成し、推進体制の整備を行う	・各学校で食育全体計画を作成し、月ごとに重点を決めて指導している。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生	37	子どもたちのライフステージに合わせた食育を行う	・アランマーレ食育教室と連携し、食育の授業に取り組んでいる学校もある。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・地域の伝統行事献立に合わせて食育便りを活用して学びの場を設定。 ・指導資料をもとに、児童の実態に合わせた食育指導を実施。 ・アランマーレ食育教室と連携し、食育の授業に取り組んでいる学校もある。			
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	全体	全体	64	家庭や地域との交流を深める中で、伝統行事食をつくり、食べ、学び伝える場を持つ	・地域の伝統行事献立に合わせて、食育便りを活用して学びの場を設定している。			

## 酒田市教育委員会社会教育課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	保育所教育機関	乳幼児期小学生	21	地域の農業者から田んぼや畑を見せてもらい、作物の成長過程と生産者の作物に対する思いを伝えてもらう	・地域の教育力向上事業(米作り・野菜づくり等農作業体験<各地区>弁当・デザート作り<南部地区>イワナつかみどり<観音寺>鮭料理教室<西荒瀬>			
	保育所教育機関	乳幼児期小学生	22	地域や家族に食育の推進を呼びかけ、一緒に活動を行う	・地域の教育力向上事業(米作り・野菜づくり等農作業体験<各地区>弁当・デザート作り<南部地区>イワナつかみどり<観音寺>鮭料理教室<西荒瀬>			
	保育所教育機関	小学生	28	農林漁業についての体験的学習の時間を多く取り入れる	・地域人材交流講座(米作りを学ぶ<亀ヶ崎小、新堀小、鳥海小>、サケの稚魚飼育・サケ料理実習<西荒瀬小>、梨作りを学ぶ<鳥海小>、野菜の植付・収穫体験<浜中小、黒森小>、サツマイモの栽培<宮野浦小>等)			
	行政	全体	54	家庭、教育機関、PTA、地域等が連携し、一緒になって食育についての機運を高め、活動していく	・酒田飽海PTA連合会による映画「弁当の日」上映の後援。			
	行政	全体	62	栄養指導の実施や、講演会、各種料理教室などの開催を通じ、食と健康に関する知識の普及活動を行う	・酒田愛ごはん～在来野菜や伝統料理を学ぶ～講座(全5回開催)。	○		
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	74	生産者と消費者との交流等を推進し、地域の食文化や農業について学ぶ食農教育を、地域も巻き込んで幅広く展開する	・酒田愛ごはん～在来野菜や伝統料理を学ぶ～講座(全5回開催)で伝統野菜「鶺鴒川原きゅうり」「ひらた赤ねぎ」の圃場見学と生産者からの説明を各1回実施。			
(3) 食を知り、食に感謝する	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	95	食品ロス削減のための啓発を図る	・環境衛生課との共催により、ミライニで食品ロスに関する展示を実施。			

## 酒田市農林水産部農林水産課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・市HPで酒田の旬の魚情報の掲載や水産関連イベントの告知を実施している。			
	行政	全体	46	食育出前講座、収穫祭、シンポジウム等、各種イベントを開催する	・定期航路の2便期間に合わせて、飛鳥産サザエを使用したおにぎりを提供した。 ・9月に開催された「みなとオアシスマつり・海のマルシェ」において、酒田(飛鳥)産水産物を販売・提供した。			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・酒田産のイカを食べられる飲食店のマッピング作成と情報発信を行う。			
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	102	飲食店や直売所等での地場産農林水産物の利用拡大を図る	・飛鳥産水産物の利用拡大を図る取組として、市内飲食店等を対象に「とびしま応援店」を募集する。			

## 酒田市農林水産部農政課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(1) 食を楽しむ、食から健康をつくる	全体	全体	1	毎月19日の「食育の日」に家族団らんを推進する	・毎月19日に庁内放送で環境行動推進員が、農政課朝礼で担当職員が、食育の日と家族団らんの日であることを呼びかけた。			
	家庭	全体	4	家族と一緒に食べる回数を増やす	・No.1と同じ。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	乳幼児期 小学生 中学生	38	各団体における食育担当や栄養士による創意工夫を活かした食育の実践を行う	・6月の食育月間中、庁舎1階フリースペースに食育関連のパネルを展示し、周知啓発を図った。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	40	各種広報誌などによる広報活動を推進する	・農政課メールマガジン、市HPにて、食育月間の周知のほか、6月に行った食育についてのパネル展示に関するお知らせや食育優良活動表彰の受賞活動を発信した。	○		
	行政	全体	45	食育活動全体を把握する	・推進計画の各施策の進捗状況を確認、情報共有(9月、2月)。			
	行政	全体	46	食育出前講座、収穫祭、シンポジウム等、各種イベントを開催する	・出前講座を実施(8/4市教研養護教育部会、11/15学校保健委員会)。 ・「庄内砂丘メロンの日」PRイベントとして、メロンの歴史や雑学などのパネル展示(7/3~7/7)、メロンに関する応募クイズ(6/20~7/7)、メロンマルシェ(7/6)を実施した。 ・「花のまち酒田華いっぱいプロジェクト」主催で生け花イベントを実施(7/16)。	○		
	行政	全体	48	食育ハンドブックを広く市民に周知し、離乳食から高齢者の食事まで「食と健康」の大切さをわかりやすく伝える	・市HPに食育ハンドブックを掲載している。出前講座の際に周知している。	○		
	行政	乳幼児期 小学生	49	食育に関する優良事例を紹介する機会を設ける	・新たな取り組みとして、「食育優良活動表彰」を実施。優良活動賞2団体に対しその功績を称え、その内容を市HPや展示において広く市民に周知した。	○		
	行政	全体	53	広報紙やマスメディアを使った食育のPRを行う	・「食育優良活動表彰」についてのマスコミ報道あり(山形新聞7/1掲載)。			
行政	全体	54	家庭、教育機関、PTA、地域等が連携し、一緒になって食育についての機運を高め、活動していく	・No.45と同じ。				
(2) 食を学び、食を受け継ぐ	保育所・教育機関	小学生 中学生	69	学校給食における地産地消の充実を図る	・学校給食におけるブランド米給食、米粉パン給食において支援することで、米の消費拡大や米粉の普及拡大を図っている。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	73	アンテナショップ「麦わら帽子」への地場産食材の出品を促進する	・「麦わら帽子」のパンフレットを農政課窓口を設置。農業者から商品を取り扱ってほしい旨の相談があった場合は繋いでいる。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	74	生産者と消費者との交流等を推進し、地域の食文化や農業について学ぶ食農教育を、地域も巻き込んで幅広く展開する	・食育交流活動サポーター助成金により、保育所等における食育交流活動(農業体験等)を実施する農業者を支援している。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業	全体	75	歴史に根ざした京文化や洋食文化など、地域の風土を活かした料理や食の知識を伝えていく	・出前講座の際、酒田の食文化や郷土料理について話している。			
	行政	全体	76	食育出前講座、シンポジウムなど各種イベントを開催する	・出前講座を実施(8/4市教研養護教育部会、11/15学校保健委員会)。			
	行政	全体	77	食育ハンドブックを広く市民に周知し、郷土料理や行事食、在来野菜などを紹介する	・No.48と同じ。			
	行政	全体	78	在来野菜を取り入れた料理を家庭に取り入れるような働きかけをする	・出前講座の際に在来野菜を紹介した。在来野菜の多くは流通が少なく、手に入れることが難しい場合もあるため、できる限りで普段の料理に取り入れてほしいと呼びかけた。			
行政	全体	79	広報紙やマスメディアなどを利用して食育の情報発信やPRを行う	・No.53と同じ。				



## 酒田市農林水産部農政課

重点目標	実施主体	対象	NO.	具体的な施策	令和5年度の実績	「デジタル」関連取組	令和6年度の実績予定 ※新規や拡充のみ記載	「デジタル」関連取組
(3) 食を知り、食に感謝する	家庭	全体	81	地場産農林水産物を食事(離乳食を含む)に積極的に取り入れる	・No.69と同じ。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	85	生産者と消費者等の交流を推進する	・「酒田ファームステイ」による農業体験を市内7会場で実施した(8/22～25、3泊4日の行程で、東京都田園調布学園中等部2年生約200名が酒田ファームステイで来酒)。			
	生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	88	農林漁業体験活動の充実を図る	・農泊についての国主催のセミナーや勉強会に参加した。 ・No.74と同じ。 ・No.85と同じ。			
	行政・生産者・農林水産業団体・企業・団体	全体	94	各種宴会や懇親会等で終了前に提供されている料理を食べる時間を設け、食べ残しを削減する	・会食・宴会時において、食べ残しを減らすために、自席にて料理を食べる時間帯を設けている。			
(4) 食でつながり、食を発信する	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	99	インターネットやSNSなどを積極的に活用し、消費者の目線に立った地場産農林水産物などの食に関する情報発信やPRを行う	・市HPに「酒田の産直ガイド」と各産直の詳細情報を掲載し紹介している。	○		
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	100	地場産農林水産物の利用拡大(地産地消)を進める	・「花のまち酒田華いっぱいプロジェクト」により、酒田産花きの消費拡大・認知度向上を図っている。市内施設における酒田の花の展示、市内小学校への花育授業などを行った。			
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	101	農産物直売所の紹介などにより、地場産農産物を購入できる場所の情報を発信する	・No.99と同じ。	○		
	行政・教育機関・生産者・農林水産業団体・企業・団体・飲食事業者	全体	103	アンテナショップ「麦わら帽子」等で旬の本市農林水産物の販売を充実し、首都圏での販路拡大や販売促進を図る	・酒田農業技術普及課職員が地場産米PR活動を現地で実施(11月)。			
	行政	全体	107	地場産農林水産物を利用した加工品の開発や販売に対して支援する	・補助事業を紹介するなどして市内農業者自らの6次産業化の取組みに対して支援をおこなっている。			
	行政	全体	108	商談会等のイベントや補助事業等の情報提供、国内外で行われる商談会等への出展の支援を行う	・「農産物販路・消費拡大支援事業費補助金」により、庄内圏域外における物販活動や商談会に支援を行った。			